

わかさ 社協だより

令和5(2023)年

Vol. 91

住民一人ひとりの力がつながり、大きな輪になるよう活動を支援していきます

4月14日 発行



熊川小学校4・5・6年生(R4年度)のみなさん

《特集 P2~3》子どもを中心に地域で取り組む福祉教育推進事業 ボランティア出前講座 ～応用編～ 「熊川宿の歴史を学ぶ 大正時代の引き札学習」

- P4. 赤い羽根共同募金助成金事業募集
- P5. 地域で見守る福祉委員
- P6. ちょボラのススメ

- P7. 輝く若者紹介
- P8. きらやま茶屋のお弁当はいかが？
やさしさをありがとう



この広報紙は共同募金の配分金を受けています。

「熊川宿の歴史を学ぶ 大正時代の引き札学習」

本会では、ボランティア出前講座の一環として、“子どもを中心に地域で取り組む福祉教育推進事業”を実施しました。子どもが中心となり、住民の方々と絆を深めながら地域の歴史を学び、地域福祉へと繋げていくことを目的に熊川小学校4年生から6年生が取り組みました。



江戸時代から大正時代にかけて熊川地区で実際に使用されていた「引き札」がたくさん見つかり、住民の方から本会に提供がありました。貴重な資料を用いて、地域と学校、人と人を繋げる取り組みを行うことができました。

▶引き札とは

江戸時代から大正時代にかけて、商品や店の宣伝に使われた印刷物(チラシ広告)として店先で配布されたり、新年のあいさつ用として使われることもあった。強い色彩と大胆な図柄が描かれているものが多い。

引き札学習のポイント

引き札を調べ、広報することにより、「引き札を社協に提供してくれた住民の方」「熊川の歴史について勉強することができた熊川小学校の児童」「観光マップを見て観光客が増え賑わう熊川のお店」というように、引き札がきっかけで地域福祉に繋がり、様々な人のしあわせや喜びになるということも学びました。



引き札ってなに？

「引き札ってなんだろう?」「何に使われていたの?」「いつの時代のものなんだろう?」というような引き札についての基本的な情報を学習しました。

学習を通じて児童たちからは、「自分たちの住んでいる集落の歴史についてもっと知りたいと思いました。」「明治、大正時代のお宝を実際に見る事ができて嬉しいです。」という感想があり、学習の意欲が高まりました。



地域の人に取材してみよう！

児童らは6種類の引き札について各班に分かれて、地域の方々と直接ふれあい取材をして、引き札に関する情報を集めました。地域の方との交流を通じて、コミュニケーション能力や自ら発信する力、初めてのことにチャレンジする積極性が身に付ききました。

荻野 浩史 さん
いつ頃使われていた
引き札なのか聞きました

徳キタ 時岡 壮太 さん
当時はどのような
お店があったのか
聞きました

河合 恭江 さん
引き札に書かれている
文字について聞きました

逸見酒店 さん
お店の歴史
について
聞きました



地域貢献のために熊川宿のPR活動しよう！

初めて訪れる方に熊川宿の魅力が伝わるように、熊川宿の歴史や行事、お店の情報などを児童たちがまとめ、観光マップを作成しました。

引き札についての特集ページを作り、書かれている文字の解説や絵の意味、使用されていたお店の名前などを掲載し、おおい町の「SEE SEA PARK」や「道の駅若狭熊川宿」などで実際にPR活動をしました。訪れた観光客からは、「旅の良い思い出になります。ありがとう。」「熊川宿についてよく分かる素晴らしい観光マップだと思う。」という声がありました。

感想

熊川小学校5・6年担任 大野 真 先生



引き札学習を通して、子どもたちは多くの方々と関わる経験をし、熊川の歴史に触れ、今と昔をつなげて考えることができました。また、児童たちは学習したことをパンフレットにまとめ、若狭町内外の人へ発信することができました。こういった学習を地元熊川でできるのは、本当に幸せなことだと思います。貴重な学習の場を作ってくださった掛谷さん、若狭町社会福祉協議会のみなさん、そして熊川のみなさん、本当にありがとうございました。



引き札を提供してくれた
掛谷 岩男 さん(熊川)

熊川宿に建っていた古い建物を取り壊した際にたくさんの引き札が見つかりました。当時は煤や土埃で真っ黒でしたが、1か月以上かけて丁寧に磨き上げ、原型に近づけることができました。そんな引き札を通じて、児童たちと交流することができ、学習発表会に招待してもらい、引き札学習について児童たちがのびのびと発表する姿を間近で見ることができて、とても元気をもらい嬉しく思いました。本当にありがとうございました。

赤い羽根共同募金助成金事業募集



多くの募金を寄せていただき、ありがとうございました！
みなさまの温かい心が込められた募金は町内の高齢者・障がい者・子どもたちなどの地域福祉活動に役立てていきます。

「児童遊具設置修繕費助成事業」募集

赤い羽根共同募金を財源とし、集落内の児童遊具の新設・修繕にかかる費用の一部を助成します。ブランコ・鉄棒等を新しく設置し、こどもたちの遊び場をつくりませんか？ また、既存の遊具の安全性を点検しこどもたちが安心・安全に遊べる環境をつくりませんか？

●助成範囲

児童遊具
(滑り台・ジャングルジム・シーソー・ブランコ・ベンチ等)

●助成額

新設・修繕工事に必要な費用の2分の1以内
(上限5万円)

●応募締切 令和5年6月30日(金)



「地域を良くするプロジェクト」申請団体募集

赤い羽根共同募金を財源とし、私たちの地域を少しでも良くしようと地域福祉活動に取り組んでいる団体やグループ等が、令和6年度に実施する事業に対して助成します。

●対象団体

ボランティアグループ、福祉団体、サロン団体、NPO 団体、小・中学校、高等学校、保育所(園)
※若狭町内で活動する非営利団体等への福祉活動助成とします。

●助成額

・継続的事業(毎年行っている既存事業) 上限5万円
・発展的事業(既存事業を拡大・拡充する事業、または新規事業) 上限10万円

●応募締切 令和5年5月18日(木)



地域で見守る 福祉委員

◎若狭町社会福祉協議会福祉委員

任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)
(敬称略・行政順)

集落名	氏名	集落名	氏名	集落名	氏名
倉見	大野 広 恵	成出	中村 真智子	有田	山本 淳子
白屋	長塚 さか江	田井	野大 下 正子	下吉	田岸 本 政博
成願	寺村 田 雅子	梅ヶ	原深 川 久美	上吉	田辻 岡 幸子
上野	安本 明子	田立	岩崎 潔	脇袋	杉谷 みな子
能登	野吉 村 静江	別庄	赤尾 マリ子	瓜生	荻野 正 善
能登	野鳥 居 とし江	世久	津武 長 美栄子	関	荻野 嘉 政
横渡	中村 幸 江	伊良	積岩 本 克己	若葉	中西 直 美
井崎	島津 恵子	北庄	田辺 和 美	グリーンハイツ	水船 和 美
井崎	藤田 みゆき	海山	長田 友 秀	熊川	西村 祐子
高岸	前田 千 鶴	世久	見青 木 貞子	熊川	常畑 典子
高岸	森下 誉 代	食見	山野 一 彦	新道	藤井 幸 枝
岩屋	兵田 君 代	塩坂	越坂 口 美 範	河内	遠山 信 敬
田上	田中 比左江	遊子	杉本 利 明	せせらぎ	中塚 智 也
東黒	田芦 田 るり子	小川	大江 洋 子	仮屋	塚本 春 美
相田	河村 正 代	神子	寺本 健 也	若王	子中 村 一 美
相田	山田 洋 子	常神	藤村 孝 幸	三宅	玉井 喜美子
藤井	百田 信子	大鳥	羽霜 中 拓	市場	森長 房 美
藤井	大南 芳子	上黒	田森 口 繭 美	井ノ口	内藤 武
南前	川坊 栄子	麻生	野香 川 貴彦	天徳寺	河原 智 昭
南前	川島 津 恵	海士	坂内 藤 早百合	神谷	百田 輝 子
北前	川小 堀 美 幸	三生	野畑 中 三 枝	日笠	田中 輝 久
佐古	今井 京子	無悪	甲ノ浦 昌子	かみなかコーポ	出口 喜 義
田名	堤 富美夫	三田	水田 弥 生	杉山	竹村 信子
向笠	橋詰 一 美	小原	島津 澄子	堤	中村 真佐子
鳥浜	森川 克己	南	澤田 和 則	兼田	山田 早 苗
鳥浜	坪内 友子	山内	宇野 広子	武生	高本 祐三恵
館川	横井 久美子	持田	柄川 幸 枝	玉置	奥本 ちえみ
三方	坪田 千賀子	長江	小川 順子	上野	木清 水 一 美
三方	石崎 千恵子	朝霧	毛利 護	中野	木橋 本 京 美
気山	和多田 敬	末野	下嶋 恵子	下野	木倉 谷 美智子
気山	和多田 みざわ	安賀	里岡 本 忠 和		
上瀬	岩崎 照 美	下タ	中岡 本 京子		

福祉委員とは？

地域(集落)における普段の生活のなかで「気になる人」や「気になること」への目配りを行い、福祉関係者と連携し、専門機関につなぐ役割を担う地域福祉活動の協力者(ボランティア)です。
若狭町では、区長の推薦により社協会長が選任します。

具体的な活動例

- 民生委員児童委員と連携して気がかりな方の見守り活動
- 地区の福祉懇談会への出席
- サロン活動の運営やお手伝い
- 地域づくり協議会の活動へ参加・協力 等

#ちょボラのススメ

みなさんはボランティア活動にどんなイメージをお持ちですか？
ボランティア活動というと、「自分には関係ない」「大変そう」と思う方もいらっしゃるかもしれませんね。
実は、自分の得意な事や、趣味がボランティアに繋がります！
自分が出来る範囲で活動する、ちょっとだけのボランティア“#ちょボラ”の活動を紹介します！

「広がれボッチャ！スポーツで楽しく健康に」

よしむら よしみ
吉村 義美さん
(上野)



子どもやご年配の方、障がいのある方、どんな人でも楽しめるボッチャを広め、小学校や地域でボッチャの指導をされています。今回はボッチャの魅力や活動の内容を取材させていただきました。



ボッチャとは？

ジャックボール(目標玉)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたりしていかに近づけるかを競い合うスポーツです。パラリンピックの正式種目にもなっています！



これから挑戦したいことは？

皆さんにスポーツの楽しさに触れてもらう事です。その一つとして孫とおじいさん等、世代を超えての交流ができるボッチャを今後も広めていきたいです。コロナの収束も見えてきた今、集落や地域のふれあいの場の一つとなるとうれいす。みんなでわいわいと健康で過ごせるのが一番です。

お知らせ

ボッチャをやりたくても中心になる人がいないとなかなかできないと思う方もいらっしゃると思います。三十三地区の方はもちろん、集落外の方でも興味がある方、やってみたい方は吉村さん指導のもと、三十三公民館でボッチャをすることができます。ぜひ三十三公民館へご相談ください。

若狭町社協では、ボランティア活動の応援をしています！

自分の得意なことを地域のために役に立てたい方、ボランティアの依頼をしたい方は、お気軽にご相談ください。

【問い合わせ】 若狭町社会福祉協議会 パレア若狭本所 地域福祉事業 TEL:0770-62-9005

未来をつかめ!!

輝く若者紹介

ふじもと なお
藤本 奈緒さん
・若狭町南前川 25歳
・B型 ・うお座



現在は何をされていますか？

鍼灸師として、自宅の南前川にてNAO鍼灸治療院を開院しており、整体、鍼灸治療、骨盤 猫背・頸部の矯正治療などを行っています。

鍼灸師として仕事をされて何年ですか？

今年で4年目になります。鍼灸師の資格をとるために大阪の専門学校へ行き、大阪と京都で鍼灸師として働き経験を積んで、昨年9月に若狭町へ帰ってきました。その後2か月の準備期間を経て、11月より自宅での鍼灸治療院をスタートさせました。

鍼灸師になろうと思ったきっかけは？

中学から陸上競技を始め、高校では駅伝をしていました。その時に怪我や体のケアで鍼灸治療院に通っており、その先生に「あこがれて自分も鍼灸師になりたい」と思ったのがきっかけです。

やりがいを感じる時は？

患者さんから「よくなったわ」「ありがとう」という感謝の言葉を言ってもらえた時に、やっていてよかったなと感じます。患者さんに喜んでいただけていることが一番のやりがいです。

なぜ若狭町へ戻ろうと思ったのですか？

鍼灸師の資格を取るために大阪の専門学校へ行くことになった時点で、いずれば若狭町へ帰ってきて開業したいという思いがありました。周りの方も「帰ってくるのを楽しみにしている」と言ってくださっていたので、頑張ろうという気持ちが強くなりました。

目指しているところは？

ご年配の方や同年代、学生の方など幅広い方の治療をしていきたいと思っています。元々鍼灸師になろうと思ったのはスポーツがきっかけだったので、スポーツをしている方のケアやメンテナンスもしていきたいです。また、若狭町にはご年配の方が多く、その方たちの健康寿命を延ばすお手伝いができたらいいなと思っています。そのために今後も勉強を重ね、色々な資格をとって知識や技術を身につけていきたいです。

また地域の方々に恩返しをしたいという気持ちがあるので、地域のイベントへも参加していきたいと思っています。今度若狭町で行われるツィーデーマーチで出店する予定です。

若狭町の好きなところは？

自然がいっぱいで人が優しいところです。大阪、京都での生活をしてきたからこそ、自然の豊かさや人の温かみをより感じます。

趣味は？

体を動かすことと音楽を聴くことが好きなので、週に一度5kmほどの距離を音楽を聴きながら走るのが楽しみです。

今行ってみたい場所は？

ポリビアにあるウユニ塩湖に行きたいです。湖面が反射して星空や景色がとてきれいで、一度見てみたいなと思っています。国内なら、熱海や草津などの温泉に行きたいです。

幸せを感じる瞬間は？

温泉に入っている時、おいしいご飯を食べている時が一番幸せを感じます。先日小浜市にある懐石料理を食べに行ったのですが、その料理がとてもおいしくて幸せでした。

家族に伝えたい一言！

自宅で治療院を開くことは家族の協力がないとできないことなので、いつもありがとうと感謝の気持ちを伝えたいです。



当店仕込みの
パリパリ
からあげ!

からあげ弁当
500円



- きらやま弁当 680円
ガッツリ食べたい方はぜひ!!
- 日替わり弁当 600円
メインはお楽しみ!!
- ソースカツ丼 680円
ドーンとカツ3枚!!

きらやま茶屋の お弁当はいかが?



- 当日10:00まで注文可能です。
- 三方地域の企業・法人への配達は無料で行います。

店内メニュー(一部)

- からあげランチ 780円
- 日替わりランチ 750円
- かすてらサンデー 210円
- きらやまコーヒー 400円

おさかな弁当
500円

鯖・鮭の
2種類のお魚!



からあげ&
おさかな弁当
500円
お肉もお魚も
食べたい方へ!



ソースカツ弁当
500円

国産豚にこだわった
ミルフィーユカツ!



Feliceの焼き菓子も
販売しています♪

きらやま茶屋は、
障がい者の「働きたい」を
サポートしています。

※価格は全て税込価格です。



◎ご注文・お問い合わせ

☎0770-45-1661 8:30 ~ 17:30まで(土日定休日)

コミュニティカフェ きらやま茶屋 若狭町三方39-5-3 (JR三方駅構内)

やさしさありがとう

「社会福祉事業に役立てて下さい」と下記の方々からご寄付をいただきました。預託や寄付いただきました金品は、地域や若狭町社会福祉協議会にて有効に使わせていただきます。

下記以外にも多くの方々からエコキャップ等のご寄付をいただきました。ありがとうございました。

令和5年1月1日~令和5年2月28日 (敬称略・順不同)

福祉基金

千田 幸一(若狭町北前川)	100,000円	匿名(若狭町上野)	100,000円
藪上 美重子(若狭町成願寺)	50,000円	匿名(若狭町下野木)	100,000円

物品預託

千田 幸一(若狭町北前川)	介護用品、医療器具	匿名(若狭町上野)	口腔ケアスポンジ、食事エプロン
---------------	-----------	-----------	-----------------